

タイトル	台湾はなぜ親日と言われているのか？		
所属	南山大学人文学部人類文化学科(藤川ゼミ)	氏名	田村享菜

✎ 卒論で問いたいこと：「台湾はなぜ親日と言われているのか？」 ✎

✎ このテーマにした理由

✓ 台湾は韓国・中国と地理的・歴史的に共通する部分があるにもかかわらず「親日」と言われているのはなぜだろうか？

Ex. 【地理的】 東アジアに属する (↔島国か大陸かの違いはある)
 【歴史的】 植民地支配など (↔その長さなどに違いはある)

✓ なぜ親日なのか明確な答えを示すのは難しいと考えているが、だからこそ様々な考察が浮かび上がってきそう！

✓ 先行研究(下記に詳しく明記)とは異なった視点から考察してみたい！

※親日反日のよし悪しの考察ではなく、なぜそう言われているのか要因を考察することで今まで見えてこなかった「台湾の姿」をまなざしてみたい！

✎ introduction①：台湾は本当に親日と言えるのか？

✓ 日本台湾交流協会による「台湾における対日世論調査(2018)」 [2018_seron_shosai_JP.pdf \(koryu.or.jp\)](https://www.koryu.or.jp/2018_seron_shosai_JP.pdf)

(1)台湾を除き、最も好きな国(地域)はどこ？

→ 1位日本：全体として59%、2位中国：全体として8%、3位アメリカ：全体として4%

(2)日本に親しみを感じるか？

→ 全体として70%が親しみを感じると回答

✓ 日本言論NPOと韓国のシンクタンクである東アジア研究院(EAI)による

「第6回日韓共同世論調査(2018)」 [180617.pdf \(genron-npo.net\)](https://www.genron-npo.net/180617.pdf)から韓国と比較すると…

(1)(韓国における)相手国(日本)に対する印象

→ 全体として28.3%が良い印象を持っていると回答(良くない印象は50.6%)

➡ **台湾は日本に親しみ(親日的な感情)を持っていると言える**

✎ introduction②：これまでの先行研究(よく見られる論点)

✓ 文化受容に注目した研究 Ex.原口直希(2020)

・台湾では日本文化の需要が盛んである(Ex.ドラマ・アニメ)

↔日本においては韓国文化の需要が盛んであるが(Ex.ドラマ)、「第6回日韓共同世論調査(2018)」日本の韓国に対する印象は良い22.9%/悪い46.3%である

➡ **文化受容だけが台湾の「親日」要因であるとは言えない**

✓ 植民地期を経験した「日本語世代」の日本に対する評価に注目した研究 Ex.洪都如(2013)

・戦後の国民党政権との比較による「日本に対する良い評価」や「良い歴史記憶」

➡ **「日本語世代」がもつ歴史記憶と日本に対する評価のよし悪しの相関関係を完全に否定することはできないが(現時点で調査不足のため…)、それだけで日本統治時代を経験していない世代が大多数を占める台湾の「親日」を語るには課題が残る。**

✎ 今考えている論点

✓ 台湾の価値観(その形成や表れ)に注目する

・「親日」に関して、台湾が日本に対して共感できる点があるのでは？

→価値観の形成であれば交流関係(Ex.家族、友人/日本人との関わり)・SNS発達による影響や教育など考察する。価値観の表れであれば人との付き合い方・結婚観などを考察する。

✓ 台湾・韓国・中国教科書の比較

・台湾の異なる点が見つかるのでは？

・植民地時代を経験していない世代への考察も可能
 →歴史問題などをどう取り上げているのか・人々はそれをどう受け取るのかなど考察する。

📄 調査方法

✓ フィールドワーク

・日本人観光客の多い地域と少ない地域を比較し「日本人との関わりが親日に影響を及ぼすのか」、日本で暮らす台湾人が「なぜ日本で暮らしているのか」など考察したい。

✓ アンケート調査

・実際、日本に対してどういう感情や考えを持っているのかアンケートを実施することで考察したい。

✓ YouTubeなどのSNSや台湾ドラマ

・サンエン台湾(YouTuber)が投稿しているものから日本へのイメージを探る。

・ドラマから台湾人の人との関わり方をまなざす。